

『本山さくら地方車』に密着！！

今年も高知の夏を彩るよさこい祭りの季節がやってきました。どこもチームカラーを最大に出して演舞します。踊りも見物ですが、地方車も注目する1つです。

昨年、地方車奨励賞を受賞した『本山さくら』。地方車に『はりまや橋』を載せ観客の目を引きつけました。今年も第一コンサルタンツは、ものは違えど同じ技術を追求する『本山さくら地方車』に協賛することとし、地方車の制作段階から密着してきました。

訪問したのは吉野川リビング協同組合さん。
長岡郡本山町に会社があります。

普段は、地元産の嶺北杉等を使用し、建具・家具の製作を行っています。



嶺北杉を使用した椅子

訪問した日には、近隣の小中学校に納品する机と椅子が工場の片隅に置いてありました。実際に椅子に座らせて頂きました。机の天板以外はすべて地元産の嶺北杉で作成されており、背もたれ等は長く座っていても疲れないう、手作業で湾曲状にされています。

木のぬくもり・作り手のぬくもりが大変感じられました。



吉野川リビング協同組合さん

今年の6月初旬。本山さくら地方車の制作が始まりました。はりまや橋は、昨年の作品を使用せず一からの制作でした。昨年の地方車と大きく違うのは、はりまや橋の下が空洞になっていることです。昨年は側面を焼杉で覆っていましたが、それらを取り除き、代わりに側面にスリットを入れ、ライトアップされるようになっていました。夜になると本山さくらの文字とシンボルマークでもある“桜”のシルエットが浮びあがり、また違う表情を見せていました。魚や桜の模様がいたるところに刻まれ、細部にわたり工夫されていました。



見学風景



ライトアップされると本山さくらの文字が浮き上がる



魚が彫刻されている



桜の模様はレーザーで焼いて刻まれている

本番当日。
今年の本山さくらの合言葉は、『よさこい桜は夏に咲く』。
完成した地方車は、嶺北杉の優しいピンク色、はりまや橋の存在がグッと引き立っていました。
今年も高松よりお坊さんが演奏に駆けつけていました。
地方車に負けないくらい、踊り・威勢の良さにも魅了されました。

今年も地方車の前面に大きく「第一コンサルタンツ」の文字を入れて頂きました。
本山さくらの皆さん。
忙しい中、見学させて頂いた吉野川リビング(協)のみなさん。
本当にありがとうございました。
そして、お疲れ様でした。



第56回よさこい祭り 地区競演場連合会地方車奨励賞 受賞おめでとうございます。